

「いちばん偉い者」

2015年12月17日

ルカによる福音書 22章 24節～30節。また、使徒たちの間に、自分たちのうちでだれがいちばん偉いだろうか、という議論も起こった。そこで、イエスは言われた。「異邦人の間では、王が民を支配し、民の上に権力を振るう者が守護者と呼ばれている。しかし、あなたがたはそれではいけない。あなたがたの中でいちばん偉い人は、いちばん若い者のようになり、上に立つ人は、仕える者のようにになりなさい。食事の席に着く人と給仕する者とは、どちらが偉いか。食事の席に着く人ではないか。しかし、わたしはあなたがたの中で、いわば給仕する者である。あなたがたは、わたしが種々の試練に遭ったとき、絶えずわたしと一緒に踏みとどまってくれた。だから、わたしの父がわたしに支配権をゆだねてくださったように、わたしもあなたがたにそれをゆだねる。あなたがたは、わたしの国でわたしの食事の席に着いて飲み食いを共にし、王座に座ってイスラエルの十二部族を治めることになる。」

弟子たちは決然とエルサレムに上る主イエスを見て、ダビデ王朝のような独立国になってローマの属国から解放されることを期待した。その時、誰がいちばん偉くて、どんな地位を得ることができるかと、頭の中が一杯で、絶えず論争になっていた。もちろん、主イエスの前では話さないが、陰で競い合っていた。主イエスは弟子たちの論争をご存知であった。苦難と死に向かう主イエスの決意と弟子たちの思いは真逆の方向を向いていた。弟子たちの論争を聞きながら、深い孤独を感じておられたらう。

そこで、主イエスは弟子たちに語りかけた。「異邦人の間では、王が民を支配し、民の上に権力を振るう者が守護者と呼ばれている。しかし、あなたがたはそれではいけない。あなたがたの中でいちばん偉い人は、いちばん若い者のようになり、上に立つ人は、仕える者のようにになりなさい。」神を知らない世界においては、王が民を支配している。権力者が守護者として民を守ると言っている。しかし、神を知っているあなたの方の間では、いちばん偉い人は卑しい仕事を押し付けられる若者のように、上に立つ人は皆に仕える者になりなさい。誰もが、仕えるより、仕えられることを望む。主イエスは、人の望みの逆を生きよと言われたのである。具体例として、次のように言われた。「食事の席に着く人と給仕する者とは、どちらが偉いか。食事の席に着く人ではないか。しかし、わたしはあなたがたの中で、いわば給仕する者である。」給仕する者とされる者、当然、される者が偉いと見なされる。しかし、私（主イエス）は給仕する者であった。そして、仕える者に神からの祝福が与えられると語られた。「あなたがたは、わたしが種々の試練に遭ったとき、絶えずわたしと一緒に踏みとどまってくれた。だから、わたしの父がわたしに支配権をゆだねてくださったように、わたしもあなたがたにそれをゆだねる。あなたがたは、わたしの国でわたしの食事の席に着いて飲み食いを共にし、王座に座ってイスラエルの十二部族を治めることになる。」弟子たちは様々な失敗を犯したが、神の国の宣教において、苦難を共にしてくれた。だから、神からいただいた権能をあなた方に委ねる。天の国での供食に与り、12部族を治める祝福を受ける者になる。主イエスは、方向違いの望みを持つ弟子たちの無理解を知りつつも、彼らを愛し信頼し、祝福に与ると言われている。この愛と信頼が弟子たちを真に仕える者として立たせた。それは、十字架の死から復活された主イエスと出会い、苦難と死に赴く主イエスの思いと言葉を理解した時からであった。